

# いわきを越えろ!

—2—

## 旧磐城市(江名・中之作編)(中)



1965(昭和40)年頃の北洋サケマス漁船の出港風景・中之作港=永山銀一氏提供



一九五〇・六〇(同三〇)年代の上空から撮影した永崎海岸と江名鉄道。比佐不二夫氏提供

今回は、漁業の拠点として発展を遂げた、江名、中之作港とその周辺地域をたどる。

一九六六(昭和四十二)年のいわき市合併以前、旧磐城市に参加した江名町は、明治

事業が進み、一九四〇(昭和十五)年に地方港湾に指定され、漁業で発展し、北洋サケ

の大合併期に近隣の江名村、中之作村、永崎村、下神白村、上神白村の五村で成立。江名、中之作の両港が中心となった。輸送業、漁業が盛んな村だった。

江名港は大正末期から修築事業が進み、一九四〇(昭和十五)年に地方港湾に指定され、漁業で発展し、北洋サケ

## 2 港が産業をけん引 漁業の発展と衰退の歴史

マス漁などの遠洋漁業を担う多くの船舶の拠点となった。対する中之作港は、江戸時代は貨物の集散港として栄え、一八九七(明治三十)年の旧国鉄常磐線の開業に伴い、貨物輸送を主事業とする商港から、漁港への転換を図った。

戦後、いわき地方の漁業は、「沿岸から沖合へ」「沖合から遠洋へ」というスローガンを掲げ、高度経済成長期も伴い、大規模化、大船団化が進んだ。江名町出身で、現在も江名に住む六十代後半の男性は、「いわきだけでなく、日本中から船団が集まって、大変にぎやかでした。近隣の学校がバスバンドで演奏して、北洋へ出漁する船団を送り出したことを覚えています」と、振り返る。

江名港は現在、いわきサンシャインマラソンの折り返し地点となっており、大漁旗と地元学校の演奏など、大船団を見送っていたかつての面影が垣間見られる。

終戦後に百八十二万トンまで減少した日本の漁獲高は、七〇年代から八〇年代にかけ

いわき市

1966（昭和41）年10月1日、5市4町5村が大同合併して誕生。64年3月に常磐・郡山地区が「新産業都市」に認定されるまで、各市町村が協議会を設立して活動したことが契機となった。面積は1,232km<sup>2</sup>で、市としては2003年まで国内最大、県内の約9%を占める。工業出荷額は例年、東北で1、2を争う。人口は昨年11月1日現在、32万1,184人。1997年に中核市指定



大漁旗、バンド演奏などでにぎわいを見せるいわきサンシャインマラソン大会の江名港

て一千万トン超と世界一の規模となった。  
しかし、同時期に進行した、

合併前夜——江名・中之作編

（一部いわき市の資料から）

一九五四（昭和二十九）年の「昭和の大合併」で、磐城市に参加した江名町は、一八八九（明治二十二年）年の「明治の大合併」で、江名村、中之作村、永崎村、下神白村、上神白村の五村で発足した。  
江名、中之作港は共に、天然

漁業水域を二百カイリ内とする「二百海里問題」が影響。アメリカ、ソ連（現ロシア）などの大国による水産資源の保護政策、日本船籍の漁船の締め出し、オイルショックによる燃料高騰、食文化の変化に伴う需要減などもあり、漁業の衰退が始まった。  
多くの海水浴客でにぎわった永崎海岸も震災と津波の影響で廃止。こうしたなか、中之作地区の古民家を利用したスペース「清航館」を利用し、イベントなどで地域活性化の取り組みが続く。  
また、市は「いわき常磐もの」としてブランド化した常磐沖水産物を推進。沿岸、沖合漁業の振興を図り、漁港の

朝市なども開かれている。  
江名、中之作地域は、南北朝時代（十四世紀後半）に京都から移り住んだ七家族に由来する。海上から入りやすいため、一番先に開けた土地であるという伝承が、大正生まれの男性の証言として、同地域の調査報告書（武蔵大学人文学部編）に残されていた。  
磐城市の合併時には、市名を「小名浜市」とする提案に反対し、鹿島村からの提案で「磐城市」が採用された経緯も含め、旧町村時代から江戸、さらには中世期までさかのぼり、地域の誇りが残されている。

（和）

北洋漁業で活況

の地形に恵まれ、古くから漁業、物資輸送の拠点として栄えた。  
本市漁業の中核となっていた北洋サケ・マス漁業は、戦後の復興期には、最大で百隻近

くあつた船団が、二百海里問題が直撃した一九七八（昭和五十三年）には半減以下に減船。遠洋漁業中心だった江名漁港では、七六年には約十四億四千六百万円あった水揚げ額が、震災前の二〇一〇年には千四百五十四万円余と激減。  
中之作港も同年に、二十九億六千七百万余から、約十一億円と水揚げ額が三分の一近くに減少している。



食の安全・安心。さらに、おいしい。

シーフードケーキ

日頃の感謝を込めて、大好きなあなたへの贈り物に

創作かまぼこ かねまん 本舗

https://www.kaneman.net/  
0120-17-3360

■ 電話・FAX・インターネットでも注文承ります。  
■ 本店営業時間AM8:00~PM4:00(年中無休)

■ 本店  
福島県いわき市平下高久字下原83  
TEL.0246-39-3360・FAX.39-3754

■ いわき・ら・ら・ミュウ店  
福島県いわき市小名浜字辰巳町43-1  
TEL&FAX.0246-53-7125

皆様の幸運を招く  
恵比寿様 大黒様



恵比寿様



大黒様

■ オンラインショップ  
www.kaneman.net  
インターネットでのご注文はこちら▶

